

黒檜山山行報告

【山行日】2024年 1月 31(水) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 1,300円

【メンバー】CL:鈴木、SL:廣瀬

飯野、小林、鈴木、野口

【コースタイム】岩舟支所 P6:00=おのこ

P8:15/8:35~黒檜山登山口 8:50/9:10~黒檜

山 10:30~展望台 10:35/11:00~駒ヶ岳

11:35/12:10~覚満淵 13:00/13:10~おのこ

P13:30/13:40=あいのやまの湯 14:05/14:15

=岩舟支所 P16:30



先日の日光庵滝スノーハイクの時に、「雪山は楽しいので、又どこか計画してほしい」とお願いされた。それでは少し登りがいいコースをと思い、赤城山の黒檜山から駒ヶ岳に登るコースを計

画した。山行案内を送ると5名申し込みがあり、6名で岩舟支所を6:00に出発する。

いつもの道路を走り、赤い大鳥居から赤城山への道路を登るが、今回も道路には雪がほとんど無かった。おのこ駐車場に着き準備を整え、トイレとストレッチを済ませて出発する。駐車場を出て道路を左に進み、15分ほど歩くと黒檜山登山口に着く。ここでアイゼンを付けるが、初めての人は上手く付けられず少し時間が掛かってしまう。いきなり急登が続くので、アイゼンを付け安心して登っ

て行く。尾根に登った所で小休止し、景色を楽しみながら呼吸を整える。右側が切れ落ちたヤセ尾根を登ると展望が良い場所に出て、地蔵岳の左肩に富士山がうっすらと顔を出している。眼下には

大沼が見え、凍った湖面でワカサギ釣りをする人達で賑わっている。さらに急登が続き、足の疲れが限界に近づく頃に鞍部に出る。

ここから左に平坦な尾根を進むと、平らで広い黒檜山山頂に着く。記念写真を撮ったらすぐ先の展望スポットに向かい、ほんの少し歩くと絶景が見られる。真白な谷川連峰や苗場山、浅間山や上州武尊山、尾瀬の至仏山と燧ヶ岳等の眺望が素晴らしい。皆さんが展望を十分に楽しみ、絶景をスマホに収めたら休憩し菓子や果物をいただく。



女性が一人焼肉を楽しんでいて、「ビールは無いのですか？」と聞くと青いビールを飲んでいた。



聞くと北海道の地ビールとの事で、本当に美味しそうで羨ましい限りである。女性に「お先に」と挨拶しここから鞍部まで戻り、赤城大神神社が祀られた赤城山南峰を経て駒ヶ岳に向かう。

南峰からは急な下りになるが、南斜面なので雪が融けて少なく、木の階段や地面が露出して歩きにくくなる。なるべく雪の上を歩くようにして下り、最低鞍部の大ダルミから駒ヶ岳へ登り返す。駒ヶ岳山頂でランチタイムとし、雪の上に腰を下ろしてお湯を沸かす。カップ麺やスープを作り、おにぎりや

パンをいただく。今日は天気が良すぎて遠くが霞んでしまい、筑波山や富士山は見られなかった。ランチが済んだら下山開始し、南に向かって尾根を下って行く。いつもならこのあたりは尾根に雪庇

が張り出し、雪山の雰囲気を楽しめる場所だが、暖冬の影響で雪が少なく見られない。大沼への下降点に着くが、鉄の階段をアイゼンで下るのを避け、そのまま直進して鳥居峠に向かうことにする。こちらにもトレースがしっかり付いて歩き易かったが、下るにつれ雪が少なくなり地面が露出して歩きにくくなる。ようやく鳥居峠に出て、ここから覚満淵に下る。覚満淵の真ん中に付けられた木道を歩き、雪の湿原を縦断して道路に出る。道路に出たら右に進み、ほんの少し



歩くとおのこ駐車場に着く。靴を履き替え、トイレを済ませたら車に乗り帰路につく。往路を戻りあいのやまの湯に寄って買い物し、マイタケとどら焼きをゲットして岩舟支所へ向かう。初めてアイゼンを付けての雪山登山は楽しかったようで、車の中でも楽しそうに会話が弾んでいた。

